

**iStorage NS41P**

再インストール手順書

**NEC**

**2003年8月29日**

## 目次

1	はじめに.....	3
2	すべてのシステムドライブをベーシックディスクで使用している場合.....	5
2.1	インストールの流れ.....	5
2.2	ユーザデータのバックアップ.....	6
2.3	スナップショット関連のフォルダ/ファイルの削除.....	6
2.4	MWA のインストール、コンフィグレーション、iStorage NS への接続.....	7
2.5	ブートデバイスの順位の確認.....	7
2.6	[Network Attached Storage CD-ROM]を用いたインストール.....	8
2.7	iStorage NS の起動.....	8
2.8	確認と設定.....	9
3	システムドライブをダイナミックディスクへアップグレードしている場合.....	12
3.1	インストールの流れ.....	12
3.2	ユーザデータのバックアップ.....	13
3.3	MWA のインストール、コンフィグレーション、iStorage NS への接続.....	13
3.4	FDISK による全パーティションの削除.....	13
3.5	ブートデバイスの順位の確認.....	14
3.6	[Network Attached Storage CD-ROM]を用いたインストール.....	14
3.7	iStorage NS の起動.....	15
3.8	確認と設定.....	15
4	ディスクアレイコントローラ (IDE) に接続するハードディスクを交換する場合、または、ディスクアレイ構成を変更する場合.....	18
4.1	インストールの流れ.....	18
4.2	ユーザデータのバックアップ.....	19
4.3	MWA のインストール、コンフィグレーション、iStorage NS への接続.....	19
4.4	ディスクアレイの構築.....	19
4.5	ブート順位の確認.....	19
4.6	[Network Attached Storage CD-ROM]を用いたインストール.....	20
4.7	iStorage NS の起動.....	20
4.8	確認と設定.....	21

# 1 はじめに

<注意> 再インストールを行うとハードディスク上のデータはすべて削除される場合があります。再インストール作業の前に、必要なデータを外付けバックアップ装置などにバックアップして下さい。システム復旧のためのバックアップの方法に関しては、以下の Web ページ上に公開するシステム復旧手順書と、BackupExec または NetBackup のマニュアル類を参照して行ってください。

<http://www.sw.nec.co.jp/products/istorage/guide/>

同じネットワーク内で複数の iStorage NS を再インストールする必要がある場合でも、1 台ずつ行ってください。

## <準備していただくもの>

- 装置添付の「Network Attached Storage CD-ROM」
- 装置添付の「保守・管理ツール CD-ROM」
- 装置添付のユーザーズガイド
- Web に公開されている「iStorage NS シリーズ用リモートコンソールのための MWA 操作マニュアル」
- MWA コンフィグレーション用のフロッピーディスク



### 出荷時構成について

**iStorage NS41P** はディスクアレイコントローラ (IDE) を標準で 1 枚搭載しています (PCI#1 に搭載)。出荷時には 4 台の内蔵ハードディスクが接続されています。

RAID 構成を変更して再インストールする場合のパーティションサイズについて

RAID 構成を変更して再インストールする場合は、以下のようにパーティションを設定してください（太字がシステムパーティションです）。RAID 構成についてはユーザズガイド 157 ページを、ホットスペアについてはユーザズガイド 172 ページを参照してください。

- ◆ RAID5 (HDD x 4) : **10GB** + 325.27GB
- ◆ RAID5 (HDD x 3 + ホットスペア HDD) : **10GB** + 213.51GB
- ◆ RAID1 (HDD x 2) + RAID1 (HDD x 2) : **10GB** + 101.75GB + 111.75GB
- ◆ RAID0 (HDD x 4) : **10GB** + 437.02GB

本装置の場合、再インストール時のディスクの状態によって以下の 3 つの方法があります。

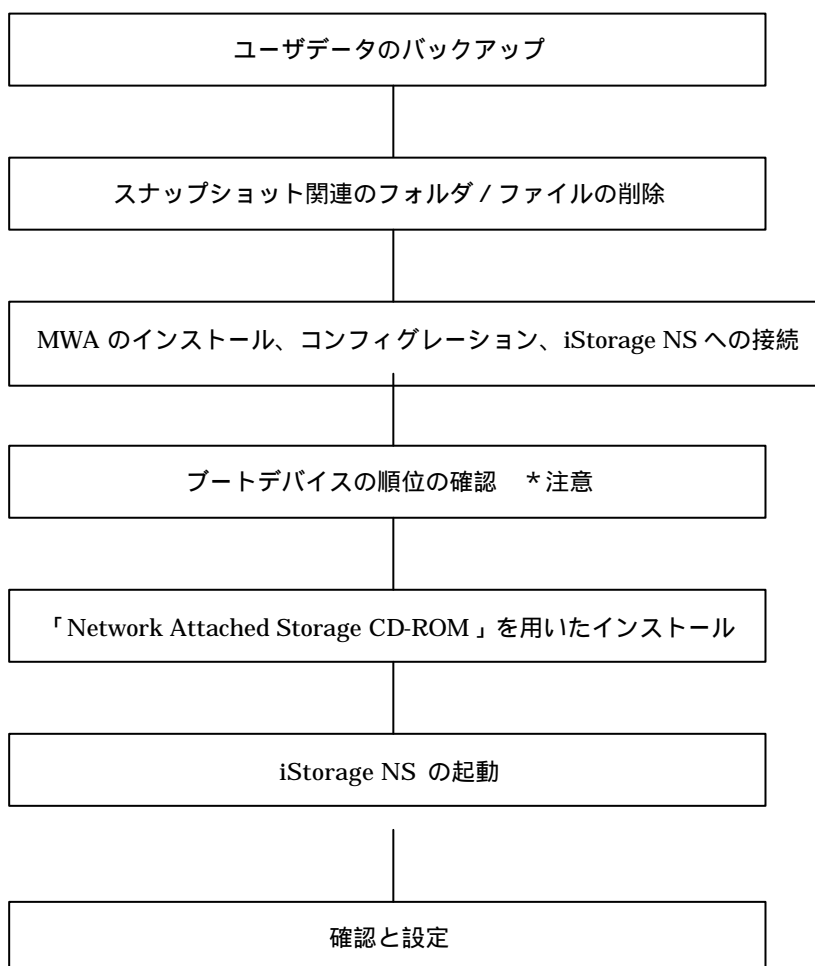
- ◆ すべてのシステムドライブをベーシックディスクで使用する場合
- ◆ システムドライブをダイナミックディスクへアップグレードしている場合
- ◆ ディスクアレイコントローラ (IDE) に接続するハードディスクを交換する場合（ディスクアレイコントローラのみを交換した場合はこの手順は不要です） またはアレイ構成を変更する場合

それぞれについて以下に説明します。

## 2 すべてのシステムドライブをベーシックディスクで使用している場合

すべてのシステムドライブをベーシックディスクで使用する場合は、本手順の方法で再インストールを行ってください。出荷時構成については、前述の「出荷時構成について」を参照してください。

### 2.1 インストールの流れ



\*注意：MWA を使用

## 2.2 ユーザデータのバックアップ

バックアップに関しては、ご使用のバックアップソフトウェアのマニュアルを参照してください。

## 2.3 スナップショット関連のフォルダ / ファイルの削除

再インストール前にスナップショット (WebUIの[ディスク]-[Persistent Storage Manager]で使用可能な機能) の固定イメージ、スナップショット関連フォルダ / ファイルを削除する必要があります。スナップショットを使用していない場合は省略してください。

1. 管理 PC でブラウザを使用して WebUI を起動します。
2. [ディスク] [Persistent Storage Manager] [スケジュール]をクリックします。
3. 削除するスケジュールを選択し、タスクの[削除]をクリックします。
4. 削除の確認画面でOKボタンをクリックします。
5. 手順3と手順4を繰り返して、一覧からすべてのスケジュールを削除します。
6. [ディスク] [Persistent Storage Manager] [固定イメージ]をクリックします。
7. 削除する固定イメージを選択し、タスクの[削除]をクリックします。
8. 削除の確認画面でOKボタンをクリックします。
9. 手順7と手順8を繰り返して、一覧からすべての固定イメージを削除します。
10. [メンテナンス] [ターミナルサービス]をクリックしてターミナルサービスクライアント画面を起動します。administrator 権限を持つユーザーとパスワードでログインします。
11. エクスプローラまたはマイコンピュータから各ドライブのルートにあるスナップショットの固定イメージが保存されていたフォルダを削除します。(フォルダ名は規定では snapshots ですが、スナップショット運用時に変更されている場合もありますので、管理者に確認してください。)
12. [スタート] [プログラム] [Accessories] [Command Prompt]を起動します。
13. ドライブ E (ここでは例として E ドライブを対象にしていますが、全ドライブで行ってください) に移動します。[Command Prompt]より次のコマンドを実行します。  
E:
14. ドライブ E のファイル/フォルダ情報を取得します。[Command Prompt]より次のコマンドを実行します。  
dir /AH  
フォルダ[Persistent Storage Manager State]がある場合、次の手順 15 を実行してください。
15. フォルダ[Persistent Storage Manager State]があるドライブについては、フォルダ[Persistent

Storage Manager State] を削除するため、[Command Prompt]より以下のコマンドを順番に実行します。(ここでは、例として E ドライブを対象とした操作を説明します。)

```
cacls "E:¥Persistent Storage Manager State" /g Everyone:f
attrib "E:¥Persistent Storage Manager State" -r -h -s
cacls "E:¥Persistent Storage Manager State¥*.psm" /g Everyone:f
attrib "E:¥Persistent Storage Manager State¥*.psm" -r -h -s
del "E:¥Persistent Storage Manager State¥*.psm"
rmdir "E:¥Persistent Storage Manager State"
```

16. フォルダ[Persistent Storage Manager State]が削除されたかを確認するため、手順 14 を再度実行します。もし、削除されていなければ手順 15 を再度実行し、フォルダ[Persistent Storage Manager State]を削除してください。
17. コマンドプロンプトを終了し、ターミナルサービスクライアント画面をログオフしてください。

## 2.4 MWA のインストール、コンフィグレーション、iStorage NS への接続

MWA(Management Workstation Application)のインストール、コンフィグレーション及び iStorage NS への接続方法は、「iStorage NS シリーズ用リモートコンソールのための MWA 操作マニュアル」を参照してください。

## 2.5 ブートデバイスの順位の確認

ユーザズガイド 2 章の「BIOS 設定の注意点」を参照してブートデバイスが以下の順番に設定されていることを確認します

1. [ ATAPI CD-ROM Drive ]
2. [ Removable Devices ]
3. [ Hard Drive ]

【注意】 <LAN 接続の場合のみ>

以下の方法で MWA モードを解除します

サーバウィンドウの上で右クリックし、コンテキストメニューの[リモートコンソールの動作指定]をクリックした後、[指定なし]にチェックをします

## 2.6 [Network Attached Storage CD-ROM]を用いたインストール

Network Attached Storage ソフトウェアの再インストールには、添付の「Network Attached Storage CD-ROM」を使います。以下の手順に従って、ソフトウェアの再インストールをしてください。

1. 装置添付の「Network Attached Storage CD-ROM」を本体の CD-ROM ドライブにセットし、システム BIOS Setup ユーティリティを終了します。  
フロッピーディスクをセットしている場合は、フロッピーディスクドライブから取り出してください。
2. CD-ROM から自動的に起動して、Network Attached Storage ソフトウェアがインストールされます。インストールを正常に終了すると断続的なパターンでビープ音が鳴ります。異常終了した時は連続的にビープ音が鳴ります。
3. CD-ROM ドライブから [Network Attached Storage CD-ROM] を取り出します
4. 本体の電源を OFF します  
チェック。  
POWER ランプが消灯したことを確認してください。2~3 分経過しても POWER ランプが消灯しない場合は、強制電源 OFF (POWER スイッチを 4 秒ほど押し続ける) をしてください (強制電源 OFF については 1 章の「強制電源 OFF」を参照してください)。

### 【ヒント】

再インストールが異常終了すると、連続的なビープ音が鳴ります。その場合、装置添付の CD-ROM でない可能性があります。CD-ROM が添付のものでない場合は、正しい CD-ROM をセットして iStorage NS の電源を OFF にした後、再度 ON にしてください。正しい CD-ROM がセットされていた場合は、再インストール手順を再確認してください。

## 2.7 iStorage NS の起動

本体の電源 ON 後、初期設定ツールを使用してコンピュータ名、IP アドレスなどを設定してください。初期設定ツールの操作に関してはユーザズガイド第 2 章を参照してください。

その後、「2.8 確認と設定」に進んでください。



## 2.8 確認と設定

次に説明する確認と設定をしてください。

### iStorage NS へのログオン

管理 PC より WebUI にて iStorage NS に接続し、WebUI のメインメニューバーの [メンテナンス] とサブメニューバーの [ターミナルサービス] を選択し、ターミナルサービスを起動します

Administrator 権限を持ったユーザー名を用いて本装置へリモートログオンします。

### 仮想メモリの確認

システムのプロパティから仮想メモリの値を変更します。以下の手順で行います。

1. マイコンピュータを右クリックし、[プロパティ] を開きます。
2. [詳細] タブをクリックし、[パフォーマンスオプション] を開きます。
3. [仮想メモリ] の [変更] をクリックし、[選択したドライブのページングファイルサイズ] の [初期サイズ] が " 384 "、[最大サイズ] が " 768 " であることを確認します。

メモリを増設している場合は [初期サイズ] に搭載メモリの1.5倍、[最大サイズ] に搭載メモリの 3 倍の値を設定して [設定] をクリックします。

[初期サイズ] ・ [最大サイズ] に設定できる値は「4095」までです。搭載メモリの1.5 倍、3 倍の値が「4095」を超える場合は「4095」を設定します。

4. [OK] をクリックして、[仮想メモリ]、[パフォーマンスオプション]、[システムのプロパティ] ウィンドウを閉じます。
5. ターミナルサービスクライアントをログオフし、iStorage NS を再起動します。

### デバイスマネージャでの確認 ~ DVD/CD-ROM ドライバの更新 ~

管理 PC より WebUI にて iStorage NS に接続し、WebUI のメインメニューバーの [メンテナンス] とサブメニューバーの [ターミナルサービス] を選択し、ターミナルサービスを起動します

[ Computer Management ] の [ デバイスマネージャ ] で、[ DVD/CD-ROM drivers ] を確認します。「！」と表示されている場合はドライバを更新します。以下の手順で行います。

1. [ Computer Management ] から [ デバイスマネージャ ] を選択します
2. [ DVD/CD-ROM drivers ] を確認し、「！」と表示されているところがある場合は、「！」の項目を選択後、右クリックからプロパティを開きます
3. [ ドライバ ] タブをクリックし、[ ドライバの更新 ] をクリックします  
「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が起動します
4. [ 次へ ] をクリックします

- [ハードウェア デバイス ドライバのインストール] ダイアログボックスが表示されます
5. [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします  
[ドライバファイルの特定] ダイアログボックスが表示されます
  6. [場所を指定]のみをチェックし、[次へ]をクリックします  
[デバイスドライバのアップグレードウィザード] ダイアログボックスが表示されます
  7. [製造元のファイルのコピー元]に「C:¥WINNT¥SYSTEM32」を指定し、[OK]をクリックします。  
[ドライバファイルの検索] ダイアログボックスが表示されます。
  8. [次へ]をクリックします  
[デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了] ダイアログボックスが表示されます
  9. [完了]をクリックします
  10. プロパティダイアログボックスを閉じます

## ディスク管理での確認 ~ ドライブレターの変更 ~

[ Computer Management ] の [ ディスクの管理 ] でドライブ文字を確認し、必要に応じてドライブレターを変更します。

[ ディスクの管理 ] 画面で、CD-ROM やディスク 0 のボリュームに設定されているドライブレターが以下の図の設定になっていることを確認してください。[以下の図はアレイ構成を RAID5\(3D+P\)で構築した場合の図です。](#)



以上で再インストール手順は終了です。

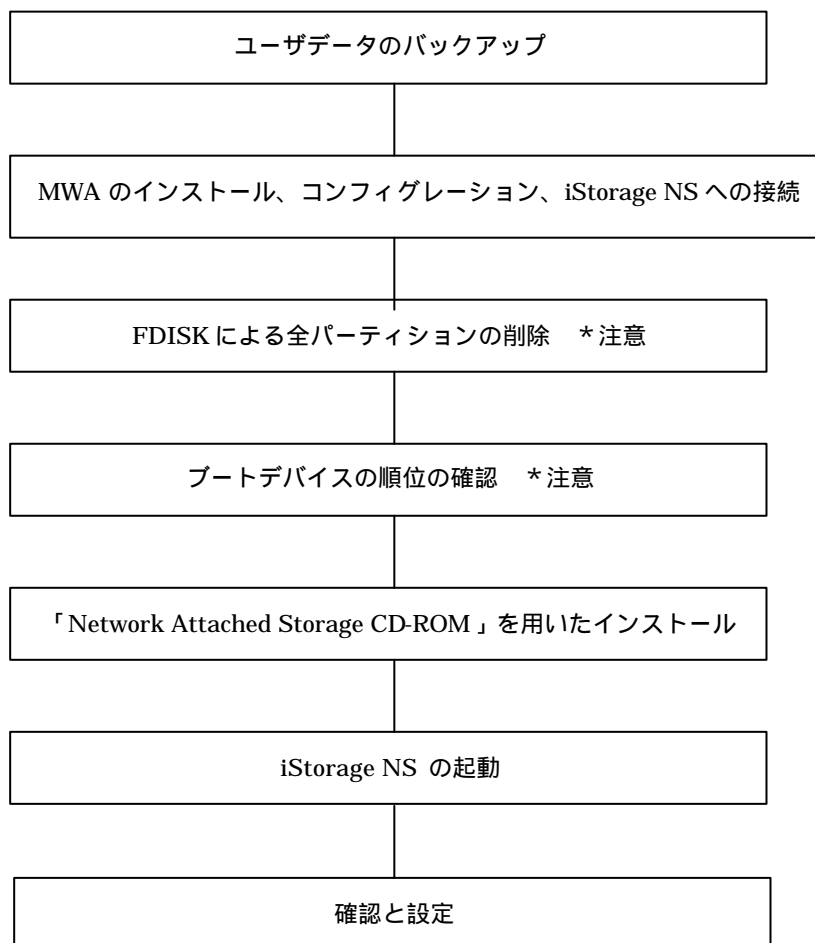
最後に必要であれば、バックアップしたデータをリストアします。リストアの手順は、管理者ガイドが掲載されたホームページ上で公開するシステム復旧手順書と BackupExec または NetBackup のマニュアル類を参照してください。

再インストールの後は、ユーザーや共有、アクセス権などの設定なども初期化されます。必要に応じて再設定を行ってください。

### 3 システムドライブをダイナミックディスクへアップグレードしている場合

システムドライブをダイナミックディスクへアップグレードしている場合は、OS の再インストール前に、保守・管理ツール CD-ROM に含まれる FDISK ユーティリティでダイナミックディスクにアップグレードしたディスクのすべてのパーティションを削除します。このため、必要なデータは必ず再インストール前に外付けバックアップ装置などにバックアップを行ってください。

#### 3.1 インストールの流れ



\*注意 MWA 使用

## 3.2 ユーザデータのバックアップ

バックアップに関しては、ご使用のバックアップソフトウェアのマニュアルを参照してください。

## 3.3 MWA のインストール、コンフィグレーション、iStorage NS への接続

MWA(Management Workstation Application)のインストール、コンフィグレーション及び iStorage NS への接続方法は、「iStorage NS シリーズ用リモートコンソールのための MWA 操作マニュアル」を参照してください。

## 3.4 FDISK による全パーティションの削除

1. 本体の電源を ON にし、CD-ROM ドライブに保守・管理ツール CD-ROM をセットします
2. 保守・管理ツール CD-ROM のメインメニュー画面が表示されたら、[FDISK の起動]を選択し、<Enter>キーを押します
3. 「Do you wish to enable large disk support? [Y]: 」と表示されるので、<Y>キーまたは<N>キーを押します。メニューが表示されます
4. <A>キーを押し、[A) Delete all partitions]を選択します
5. [Delete all partitions for which drive(1-n) [1]:]とメッセージが表示されたら、キーボードからパーティションを削除するディスク番号を入力します
6. 選択したディスクの情報と、「Are you sure you want to delete? [N]」とメッセージが表示されたら、<Y>キーを押します  
選択したディスクのパーティションがすべて削除されます
7. パーティションが削除されたら（「Partition(s) deleted」と表示されます）<Esc>キーを押してメニューに戻ります
8. <V>キーを押して[View partitions (s)]を選択します。手順 5 で選択したディスク番号が「No partitions」になっていれば削除は正常に行われています。<Esc>キーを押してメニューに戻ります
9. 手順 5 から手順 6 を繰り返して、残りのダイナミックディスクのパーティションを削除します
10. ダイナミックディスクのパーティションをすべて削除したら、FDISK オプションのメニューに戻り、<S>キーを押します
11. 「Changes saved. Press any key to reboot...」と表示されたら、何かキーを押して再起動します  
再起動後、保守・管理ツール CD-ROM のメインメニューが表示されます

12. [終了]を選択して<Enter>キーを押します
13. 終了メッセージが表示されたら保守・管理ツール CD-ROM を取り出し、iStorage NS の電源を OFF します。フロッピーディスクをセットしている場合は、フロッピーディスクも取り出してください

### 3.5 ブートデバイスの順位の確認

ユーザズガイド 2 章「BIOS 設定の注意点」を参照してブートデバイスが以下の順番に設定されていることを確認します

1. [ ATAPI CD-ROM Drive ]
2. [ Removable Devices ]
3. [ Hard Drive ]

【注意】<LAN 接続の場合のみ>

以下の方法で MWA モードを解除します

サーバウィンドウの上で右クリックし、コンテキストメニューの[リモートコンソールの動作指定]をクリックした後、[指定なし]にチェックをします

### 3.6 [Network Attached Storage CD-ROM]を用いたインストール

Network Attached Storage ソフトウェアの再インストールには、添付の「Network Attached Storage CD-ROM」を使います。以下の手順に従って、ソフトウェアの再インストールをしてください。

1. 装置添付の「Network Attached Storage CD-ROM」を本体の CD-ROM ドライブにセットし、システム BIOS Setup ユーティリティを終了します  
フロッピーディスクをセットしている場合は、フロッピーディスクドライブから取り出してください。
2. CD-ROM から自動的に起動して、Network Attached Storage ソフトウェアがインストールされます。インストールを正常に終了すると断続的なパターンでピーブ音が鳴ります。異常終了した時は連続的にピーブ音が鳴ります。
3. CD-ROM ドライブから[Network Attached Storage CD-ROM]を取り出します
4. 本体の電源を OFF します  
【チェック】  
POWER ランプが消灯したことを確認してください。2~3 分経過しても POWER ランプが消灯しない場合は、強制電源 OFF (POWER スイッチを 4 秒ほど押し続ける) をしてください (強制電源 OFF については 1 章の「強制電源 OFF」を参照してください)。

【ヒント】

再インストールが異常終了すると、連続的なピーブ音が鳴ります。その場合、装置添付の CD-ROM でない可能性があります。CD-ROM が添付のものでない場合は、正しい CD-ROM をセットして iStorage NS の電源を OFF にした後、再度 ON にしてください。正しい CD-ROM がセットされていた場合は、再インストール手順を再確認してください。

## 3.7 iStorage NS の起動

本体の電源 ON 後、初期設定ツールを使用してコンピュータ名、IP アドレスなどを設定してください。初期設定ツールの操作に関してはユーザズガイド第 2 章を参照してください。

その後、「3.8 確認と設定」に進んでください。

## 3.8 確認と設定

次に説明する確認と設定をしてください。

### iStorage NS へのログオン

管理 PC より WebUI にて iStorage NS に接続し、WebUI のメインメニューバーの[メンテナンス]とサブメニューバーの[ターミナルサービス]を選択し、ターミナルサービスを起動します

Administrator 権限を持ったユーザー名を用いて本装置へリモートログオンします。

### 仮想メモリの確認

システムのプロパティから仮想メモリの値を変更します。以下の手順で行います。

1. マイコンピュータを右クリックし、[プロパティ]を開きます
2. [詳細]タブをクリックし、[パフォーマンスオプション]を開きます
3. [仮想メモリ]の[変更]をクリックし、[選択したドライブのページングファイルサイズ]の[初期サイズ]が"384"、[最大サイズ]が"768"であることを確認します  
メモリを増設している場合は[初期サイズ]に搭載メモリの1.5倍、[最大サイズ]に搭載メモリの3倍の値を設定して[設定]をクリックします。  
[初期サイズ]・[最大サイズ]に設定できる値は「4095」までです。搭載メモリの1.5倍、3倍の値が「4095」を超える場合は「4095」を設定します。
4. [OK]をクリックして、[仮想メモリ]、[パフォーマンスオプション]、[システムのプロパティ]ウィンドウを閉じます

5. ターミナルサービスをログオフし、iStorage NSを再起動します。

#### デバイスマネージャでの確認 ~DVD/CD-ROM ドライバの更新~

管理 PC より WebUI にて iStorage NS に接続し、WebUI のメインメニューバーの[メンテナンス]とサブメニューバーの[ターミナルサービス]を選択し、ターミナルサービスを起動します

マイコンピュータを右クリックし、[Manage]を選択します。

[ Computer Management ] の [ デバイスマネージャ ] で、 [ DVD/CD- ROM drivers ] を確認します。「！」と表示されている場合はドライバを更新します。以下の手順で行います。

1. [ Computer Management ] から [ デバイスマネージャ ] を選択します
2. [ DVD/CD- ROM drivers ] を確認し、「！」と表示されているところがある場合は、「！」の項目を選択後、右クリックからプロパティを開きます
3. [ ドライバ ] タブをクリックし、 [ ドライバの更新 ] をクリックします  
「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が起動します
4. [ 次へ ] をクリックします  
[ ハードウェア デバイス ドライバのインストール ] ダイアログボックスが表示されます
5. [ デバイスに最適なドライバを検索する ( 推奨 ) ] を選択し、 [ 次へ ] をクリックします  
[ ドライバファイルの特定 ] ダイアログボックスが表示されます
6. [ 場所を指定 ] のみをチェックし、 [ 次へ ] をクリックします  
[ デバイスドライバのアップグレードウィザード ] ダイアログボックスが表示されます
7. [ 製造元のファイルのコピー元 ] に「C:¥ WINNT¥ SYSTEM32 」を指定し、 [ OK ] をクリックします。 [ ドライバファイルの検索 ] ダイアログボックスが表示されます。
8. [ 次へ ] をクリックします  
[ デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了 ] ダイアログボックスが表示されます
9. [ 完了 ] をクリックします
10. プロパティダイアログボックスを閉じます



## ディスク管理での確認 ~ ドライブレターの変更 ~

[ Computer Management ] の [ ディスクの管理 ] でドライブ文字を確認し、必要に応じてドライブレターを変更します。

[ ディスクの管理 ] 画面で、CD-ROM やディスク 0 ( FDISK ユーティリティではディスク 1 になっています ) のボリュームに設定されているドライブレターが以下の図の設定になっていることを確認してください。 [以下の図はアレイ構成を RAID5\(3D+P\)で構築した場合の図です。](#)



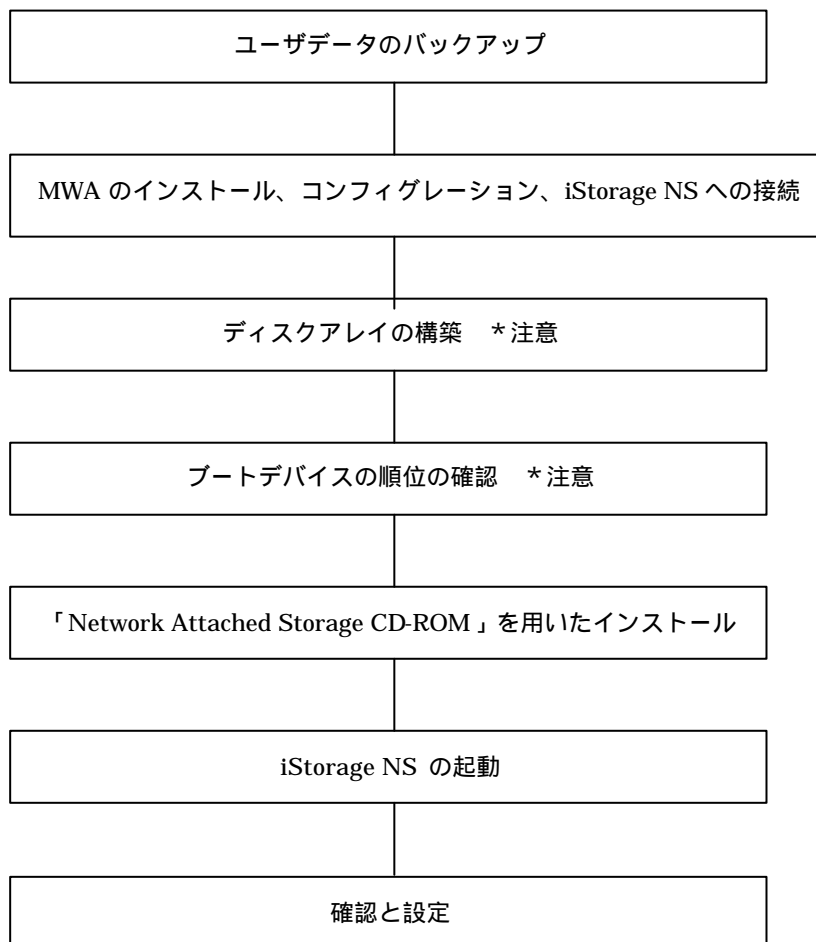
以上で再インストール手順は終了です。

最後に必要であれば、バックアップしたデータをリストアします。リストアの手順は、管理者ガイドが掲載されたホームページ上で公開するシステム復旧手順書と BackupExec または NetBackup のマニュアル類を参照してください。

再インストールの後は、ユーザーや共有、アクセス権などの設定なども初期化されます。必要に応じて再設定を行ってください。

## 4 ディスクアレイコントローラ ( IDE ) に接続するハードディスクを交換する場合、または、ディスクアレイ構成を変更する場合

### 4.1 インストールの流れ



\*注意： MWA を使用

## 4.2 ユーザデータのバックアップ

バックアップに関しては、ご使用のバックアップソフトウェアのマニュアルを参照してください。

## 4.3 MWA のインストール、コンフィグレーション、iStorage NS への接続

MWA(Management Workstation Application)のインストール、コンフィグレーション及び iStorage NS への接続方法は、「iStorage NS シリーズ用リモートコンソールのための MWA 操作マニュアル」を参照してください。

## 4.4 ディスクアレイの構築

1. 本体の電源を ON にし、[Press <Ctrl><M> to Run MegaRAID Configuration Utility]と表示されたら<Ctrl>キーと<M>キーを押します。MegaRAID Configuration Utility が起動します。
2. ユーザーズガイド 6 章の「RAID コンフィグレーション」を参照して、アレイを構築します
3. ロジカルドライブを作成する際、[Logical Drive 1]の[Size = xxxxxxMB]にカーソルを移動し、<Enter>キーを押します
4. [Enter the Drive Size:]に「10240」を入力し、<Enter>キーを押します
5. [Logical Drive 2]の[Accept]にカーソルを移動し、<Enter>キーを押します
6. RAID1 の場合は、[Logical Drive 3]でも[Accept]にカーソルを移動し、<Enter>キーを押します
7. ロジカルドライブを作成したら、MegaRAID Configuration Utility を終了します
8. 本体の電源を OFF します  
フロッピーディスクをセットしている場合は、フロッピーディスクも取り出してください。

## 4.5 ブート順位の確認

ユーザーズガイド 2 章「BIOS 設定の注意点」を参照してブートデバイスが以下の順番に設定されていることを確認します。

1. [ ATAPI CD-ROM Drive ]
2. [ Removable Devices ]
3. [ Hard Drive ]

【LAN 接続の場合の注意】

以下の方法で MWA モードを解除します

サーバーウィンドウの上で右クリックし、コンテキストメニューの[リモートコンソールの動作指定]をクリックした後、 [指定なし]をチェックします

## 4.6 [Network Attached Storage CD-ROM]を用いたインストール

Network Attached Storage ソフトウェアの再インストールには、添付の「Network Attached Storage CD-ROM」を使います。以下の手順に従って、ソフトウェアの再インストールをしてください。

1. 添付の「Network Attached Storage CD-ROM」を本体の CD-ROM ドライブにセットし、システム BIOS Setup ユーティリティを終了します  
フロッピーディスクをセットしている場合は、フロッピーディスクドライブから取り出してください。
2. CD-ROM から自動的に起動して、Network Attached Storage ソフトウェアがインストールされます。  
インストールを正常に終了すると断続的なパターンでピープ音が鳴ります。異常終了した時は連続的にピープ音が鳴ります。
3. CD-ROM ドライブから[Network Attached Storage CD-ROM]を取り出します
4. 本体の電源を OFF します

【チェック】.

POWER ランプが消灯したことを確認してください。2~3 分経過しても POWER ランプが消灯しない場合は、強制電源 OFF (POWER スイッチを 4 秒ほど押し続ける) をしてください (強制電源 OFF については 1 章の「強制電源 OFF」を参照してください)。

【ヒント】

再インストールが異常終了すると、連続的なピープ音が鳴ります。その場合、装置添付の CD-ROM でない可能性があります。CD-ROM が添付のものでない場合は、正しい CD-ROM をセットして iStorage NS の電源を OFF にした後、再度 ON にしてください。正しい CD-ROM がセットされていた場合は、再インストール手順を再確認してください。

## 4.7 iStorage NS の起動

本体の電源 ON 後、初期設定ツールを使用してコンピュータ名、IP アドレスなどを設定してください。初期設定ツールの操作に関してはユーザーズガイド第 2 章を参照してください。

その後、「4.8 確認と設定」に進んでください。

## 4.8 確認と設定

次に説明する確認と設定をしてください。

### iStorage NS へのログオン

管理 PC より WebUI にて iStorage NS に接続し、WebUI のメインメニューバーの[メンテナンス]とサブメニューバーの[ターミナルサービス]を選択し、ターミナルサービスを起動します  
Administrator 権限を持ったユーザー名を用いて本装置へリモートログオンします。

### 仮想メモリの確認

システムのプロパティから仮想メモリの値を変更します。以下の手順で行います。

1. マイコンピュータを右クリックし、[プロパティ]を開きます。
2. [詳細]タブをクリックし、[パフォーマンスオプション]を開きます。
3. [仮想メモリ]の[変更]をクリックし、[選択したドライブのページングファイルサイズ]の[初期サイズ]が"384"、[最大サイズ]が"768"であることを確認します。  
メモリを増設している場合は[初期サイズ]に搭載メモリの1.5倍、[最大サイズ]に搭載メモリの3倍の値を設定して[設定]をクリックします。  
[初期サイズ]・[最大サイズ]に設定できる値は「4095」までです。搭載メモリの1.5倍、3倍の値が「4095」を超える場合は「4095」を設定します。
4. [OK]をクリックして、[仮想メモリ]、[パフォーマンスオプション]、[システムのプロパティ]ウィンドウを閉じます。
5. ターミナルサービスをログオフし、iStorage NSを再起動します。

### デバイスマネージャでの確認 ~DVD/CD-ROM ドライバの更新~

管理 PC より WebUI にて iStorage NS に接続し、WebUI のメインメニューバーの[メンテナンス]とサブメニューバーの[ターミナルサービス]を選択し、ターミナルサービスを起動します  
マイコンピュータを右クリックし、[Manage]を選択します。  
[Computer Management]の[デバイスマネージャ]で、[DVD/CD-ROM drivers]を確認します。「！」と表示されている場合はドライバを更新します。以下の手順で行います。

1. [Computer Management]から[デバイスマネージャ]を選択します
2. [DVD/CD-ROM drivers]を確認し、「！」と表示されているところがある場合は、「！」の項目を選択後、右クリックからプロパティを開きます

3. [ ドライバ ] タブをクリックし、[ ドライバの更新 ] をクリックします  
「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が起動します
4. [ 次へ ] をクリックします  
[ ハードウェア デバイス ドライバのインストール ] ダイアログボックスが表示されます
5. [ デバイスに最適なドライバを検索する ( 推奨 ) ] を選択し、[ 次へ ] をクリックします  
[ ドライバファイルの特定 ] ダイアログボックスが表示されます
6. [ 場所を指定 ] のみをチェックし、[ 次へ ] をクリックします  
[ デバイスドライバのアップグレードウィザード ] ダイアログボックスが表示されます
7. [ 製造元のファイルのコピー元 ] に「C:¥WINNT¥SYSTEM32 」を指定し、[ OK ] をクリックします。  
[ ドライバファイルの検索 ] ダイアログボックスが表示されます。
8. [ 次へ ] をクリックします  
[ デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了 ] ダイアログボックスが表示されます
9. [ 完了 ] をクリックします
10. プロパティダイアログボックスを閉じます

## ディスク管理での確認 ~ ドライブレターの変更 ~

[ Computer Management ] の [ ディスクの管理 ] でドライブ文字を確認し、必要に応じてドライブレターを変更します。

[ ディスクの管理 ] 画面で、CD-ROM やディスク 0 のボリュームに設定されているドライブレターが以下の図の設定になっていることを確認してください。[以下の図はアレイ構成を RAID5\(3D+P\)で構築した場合の図です。](#)



以上で再インストール手順は終了です。

最後に必要であれば、バックアップしたデータをリストアします。リストアの手順は、管理者ガイドが掲載されたホームページ上で公開するシステム復旧手順書と BackupExec または NetBackup のマニュアル類を参照してください。

再インストールの後は、ユーザーや共有、アクセス権などの設定なども初期化されます。必要に応じて再設定を行ってください。